

2023年度事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人
マルイ・エンゲージメントキャピタル

1 事業実施の成果

2023年度は、新型コロナウイルスが5類に移行し、コロナ禍前の「日常」を取り戻しつつも、かつてとは違う「新たな日常」の中で、オンライン、オフライン、ハイブリッド形式でイベントを運営して参りました。

2023年度力を入れて取り組んだ事業は次の通りでした。

1. 4年ぶりとなった「2023 MARUI FOOD FESTA」を開催
2. 2年目となる「SDGs Meeting」を4回開催
3. 新企画である「高校生アントレプレナーシップセミナー(e-project)」を4回開催
4. 9年目を迎えた「寄附付き商品事業」で累計寄付金額86,227千円

【2023年度会員内訳】

正会員（団体） 37名、正会員（個人） 20名 合計 57名
賛助会員（団体） 36名、賛助会員（個人） 1名 合計 37名 総合計 94名 +13名

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
まちづくり推進活動団体への支援事業及び多様な主体との協働に付随した広報事業	岡山県・鳥取県における、生産者との消費をつなぐ食のイベント開催 1. 『とっとり GOOD FOODMARKET MARUCOLLA』 2. 『2023 MARUI FOOD FESTA』	1. 6/3、6/4 2. 11/3、11/4	1. 鳥取市 2. 津山市	1. 50名 2. 50名	イベント参加者 1. 20,000名 2. 23,000名	マルイ食育と共催
多様な主体との協働に付随した広報事業	・美作大学短期大学部、津山東高校とのお弁当共同開発 ・津山市内公立高校4校『地域創生学』 ・津山東高校『行学・地域未来創造会議』	2023年4月～ 2024年3月	津山市	3名	イベント参加者 500名	マルイ食育と共催

コミュニティデザインに関する事業①	共創プラットホームを拠点とした人材ネットワーク形成と交流の促進（タウンキッチンの企画運営、SDGs 取組の発信 ※津山市委託事業	2023年4月 ～ 2024年3月	津山市	4名	施設利用者 949名	280
コミュニティデザインに関する事業②	商品開発、セミナー、ワークショップ、フードイベントなど交流事業の実施及び SDGs 情報発信	2023年4月 ～ 2024年3月	津山市	4名	イベント参加者 826名	218
コミュニティデザインに関する事業③	共創プラットフォームの活用（ライブラリー利用、シェアスペース、シェアオフィス、POP UP） ※津山市委託事業	2023年4月 ～ 2024年3月	津山市	4名	施設利用者 2,015名	78
次世代育成を目的とした各種体験事業	アグリツーリズム、中山間地域での体験事業 イベント名 1. 酪農体験 in 大山町 2. 野菜について学ぼう 出張授業 しらゆり幼稚園 3. 食とエコの体験キャンプ 2023 in 阿波 4. プラントベースフード出張授業 in 鶴山小学校	1. 4月22日 2. 7月4日 3. 7月29日 4. 10月18日	1. 大山町 2. 津山市 3. 阿波村 4. 津山市	1. 3名 2. 3名 3. 3名 4. 3名	イベント参加者 1. 49名 2. 59名 3. 37名 4. 43名	マルイ食育と共催
小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業	生産者、地域団体および食品関連事業者との協働による寄附付き商品の開発、販売を通じた地域貢献活動	2023年4月 ～ 2024年3月	岡山県 鳥取県	9名	対象商品購入者 30,000名	16,815

コミュニティデザイン推進事業①②③について、津山市委託事業を含む

3 各事業の活動内容等

【まちづくり推進活動団体への支援事業について】

コロナ禍を経てオンラインイベントを対面型に戻しながら、近隣の店舗との共催イベント開催で賑わいと交流を創出、地域に貢献する目的を達成することができました。

津山市立図書館の本の貸出しを行う「まちライブラリ」の貸出件数は年々伸びており、2023年度は300人以上の来館と612冊の貸出があり、津山市及び周辺地域の方々に親しまれています。

恒例になった津山和っしょいでは着替えの場所・飲料の提供を行い、津山を盛り上げよう

としている皆さんの支援ができ大変喜んでいただきました。

6月には鳥取における食のイベント『2023とっとりGOOD FOODMARKET MARUCOLLA』、11月には4年ぶりに岡山における食のイベント『2023 MARUI FOOD FESTA』を開催し、合計43,000名の参加で賑わい、多くの方に喜んでいただくことができました。



常時 400 冊の貸出を行うライブ刊



鳥取食のイベント・マルコラ



岡山食のイベント・フードフェスタ

【コミュニティデザインに関する事業について】

拠点施設『Ziba Platform』からイベント企画・実施を中心に、財源確保の一端を担う収益事業も歩みを進めることとなった1年でした。

昨年度より取り組んでいる SDGs Meeting も参加者が増え、世代を超えて意見交換ができる場が確立され、多くの方に喜んでいただけるとともに、企画ごとに魅力あるイベントに育ってきました。

① フードマイレージに配慮した地産地消推進『Ziba なぎビーフカレー』の販売を継続。

◆販売食数：2022 年度 213 食 2023 年度は 343 食販売

レインフォレストアライアンス認証の珈琲豆を挽きたてで提供する Ziba 珈琲も好評。

◆2022 年度 445 杯 2023 年度は 483 杯販売

② 11月にオンライン形式から対面形式へと移行した哲学カフェも 2023 年度は 33 回目を迎え、2024 年度は県北初となる「哲学カフェセミナー」も予定されています。

③ 2022 年度より始まった歴史・教育・文化・環境・行政など、様々な切り口から学び、話し合い、津山の未来を考える会 SDGs Meeting は 7 月の『郷土の成り立ちを知ろう』を皮切りに 9 月『津山のまつり』より座学のみでなく津山を歩く企画がスタート。城下町歴史館でだんじりの見学も行いました。11 月開催の『津山の町並みと建物』の勉強会の続編として 1 月『建物を見学しよう』が講師急病で延期となったものの、2 月の特別編『津山のまちづくり』では初めての試みとして中学生による企画・運営・発表を土岐家財団記念館行い、小学生から 90 歳以上の 40 名の参加者が津山の過去と未来を語り合う素晴らしい会となりました。

④ また、2023 年度にスタートした岡山大学起業部と協働開催の「高校生アントレプレナーシップセミナー(e-project)」は、参加した津山市内の高校生・高専生たちが年間

4回の実施を通じて自分を知り、地域の課題を捉え、生成AIを活用した課題解決からプレゼンテーションまで一連の考える力をつける有意義なセミナーとなりました。拠点施設である「Ziba Platform」の利用者は2023年度2,015名、昨年度比123%となり認知度以上に地域に必要とされる施設となりつつあります。



SDGs Meeting「津山のまちづくり」

哲学カフェ「助けを求めているのはどんなとき？」

高校生アントレプレナーセミナー

【次世代育成を目的とした各種体験事業】

津山を中心とした中山間地域で、子どもたちが経験や他者とのかかわりから学びを得ることでのちや大自然、自分たちを取巻くものへの感謝の心を育み、生きる力を身につける取り組みとして、体験型、交流型のイベント『エコキャンプ』を新庄村・阿波村で実施。その他にも親子で参加出来る食品トレーのリサイクル教室やオンラインの環境体験などの食農体験を実施。直接体験型事業としては、幼稚園への出張授業を行いました。



食とエコの体験キャンプ阿波



津山市内のしらゆり幼稚園などを含む10校で体験型の出張授業を行った。

【多様な主体との協働に付随した広報事業】

① 【美作大学・美作短期大学、鳥取短期大学生活課、津山東高等学校との取り組み】

「地産地消」「健康増進」をテーマにお弁当の協働開発を通じて企業と学生との定期的な交流により地元企業や地域に関心を高めることで、次世代を担う世代の質向上、社会構造を学ぶ場の提供ができました。

② 【津山市内公立4校連携講座：津山高校、津山工業、津山商業、津山東高校】

2023年度も『地域創生学』として、次世代を担う高校生を対象に地域貢献活動の一環として企業講師を派遣、地元企業との繋がりの中で地域の課題を知り、考え、提案する場を設けました。また、岡山県教育委員会「おかやま高校生地域未来創造事業」の指定高となっている津山東高校にて実施の「地域未来創造会議」へ委員を派遣し、中

山間地域における課題を自らの課題と捉え、将来的に地域で貢献活躍する人材育成事業にも貢献しました。

- ③ 起業支援として「デジタル文化教室 NaN」・「ペン習字教室」など世代を超えた文化教室の起業のサポートを行いました。



美作大学短期大学、鳥取短期大とお弁当の共同開発



津山市内4校連携講座「地域創生」



起業支援：大人のペン習字教室

【小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業】

地域商材活用の6次化商品・機能性特化商品などの寄附付き商品1品につき3円を各地区単位で半年毎に小学校への活動資金として助成する活動も、2023年度は16期の贈呈を行うことができました。



津山市への贈呈式



図書寄付（妹尾小学校）



寄付した電子オルガンでの授業風景（琴浦町）

<寄附付き商品第1回～16回贈呈寄付金額（実績）千円>

●米子市を中心とした鳥取西部地区/2015年4月1日～	寄附金額	11,206千円
●倉吉市を中心とした鳥取中部地区/2015年3月13日	寄付金額	6,193千円
●鳥取市を中心とした鳥取東部地区/2015年4月1日～	寄付金額	31,646千円
●津山市を中心とした岡山県北部 /2015年5月1日～	寄付金額	34,957千円
●岡山市 /2015年6月1日～	寄付金額	2,225千円
寄附付き商品贈呈 累計金額	合計	86,227千円

【SDGsの取り組みについて】

地球環境の為、持続可能な取り組みのひとつとして昨年度から実施しているペーパーレスに向けた取り組みを本年も継続して実施しております。

具体的には、定款を変更し総会・理事会の案内文や資料などを郵送ではなく電磁的方法（メール・FAX）で発信できるように変更いたしました。

また、総会でのペーパーによる資料配布を取りやめ、スマートフォンやタブレットでご確認いただける形式に変更しています。

その結果として年間約2,500枚の紙削減につながっています。